いけだ議会だより
3月定例会 No.176
2020年5月1日

きらり

作る事が趣味で、建築業の傍ら本格的にぶどう作りを始めたのが11年前という沓井の野原幸義さんを訪ね、色々とお聞きしました。

◆どんなきっかけで「ぶどう」を作ろうと思ったのですか。

趣味として25年位前から作り始め、お客様においしいと言われてその気になった。
11年前から本格的に始めた。

◆どこで「ぶどう」作りを教わったのですか。

東近江市の位田様の指導を受け（一文字仕立て）２～３年間たびたびおじゃまをして、基本的な事を教わった。その後は、ネット等を利用し独学で勉強した。

◆「ぶどう」の種類はどれ位作っているのですか。

栽培面積は 2,200 ㎡で最初は 15 ～ 16 種作っていたが今は皮ごと食べられる品種を主体にして「シャインマスカット」など６品種を作っている。

◆「ぶどう」畑はどの様に手入れされていますか。

剪定から肥料・消毒など年間を通して手入れしている。「ぎふクリーン農業」の規定に合わせて3年に1回の検査を受け、登録出荷している。

◆「ぶどう」作りで一番苦労するのは何ですか。又楽しい時はどんな時ですか。

天候に左右されるため、雨が多い時は着花量を少なくし、晴天が多い場合は着花量をふやして基準の糖度が18～20度で販売している。個人のお客様が中心で、おいしいと言っていただける時はほっとする。

◆将来の計画と夢は何ですか。

栽培面積をもう少し拡大したい。
若かったら観光農園（ぶどう狩り）をやってみたい。

編集後記

コロナ禍が止まりません。感染拡大で全国に緊急事態宣言が発令され、県内感染者は135名（4/16現在）と、人口規模的には都会に引けを取りません。

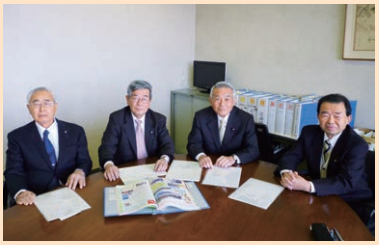
3密（密集・密閉・密接）を避け、不要・不急な外出を控える『自衛』を心がけましょう。

3月末の選挙は無投票となり、新議会が始動致しました。

「議会だより」は、この4名で担当し、議会活動をわかりやすくお伝えしていきます。

皆様のご意見・ご感想を、事務局までお寄せいただければ幸甚です。

議会広報編集委員会委員長
森　政郎



左から髙崎、森、竹中、久保田議員

編　集／池田町議会広報編集委員会
発行責任者／池田町議会議長　臼井幹夫
住所／〒503-2492　岐阜県揖斐郡池田町六之井1468-1
TEL／0585-45-3111　FAX／0585-45-8314